

2024年3月期 第1四半期 決算説明資料

2023年7月31日

NECキャピタルソリューション株式会社

\Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

目次

1. 2024年3月期第1四半期実績報告

- 1) 決算ハイライト
- 2) 事業環境
- 3) 業績概要
- 4) 事業別損益
- 5) 事業別の営業状況
- 6) リース事業の営業状況
- 7) ファイナンス事業の営業状況
- 8) インベストメント事業の状況
- 9) 営業資産残高の状況
- 10) 資金調達の状況
- 11) 与信関連費用

2. 2024年3月期 計画

- 1) 業績予想

1. 2024年3月期第1四半期実績報告

1) 決算ハイライト

【事業環境】

- ・ 業界全体のリース取扱高は前年同期比4.0%増
- ・ 資金調達環境や倒産状況は引続き今後の動向に注視が必要

【営業実績】

- ・ リース事業は、契約実行高が前年並みとなった一方、成約高は前年同期比減少
- ・ ファイナンス事業は、ファクタリングが増加し、契約実行高・成約高共に前年同期比増加

< リース事業 >	契約実行高：	0.9%減	成約高：	13.9%減
< ファイナンス事業 >	契約実行高：	4.4%増	成約高：	5.4%増

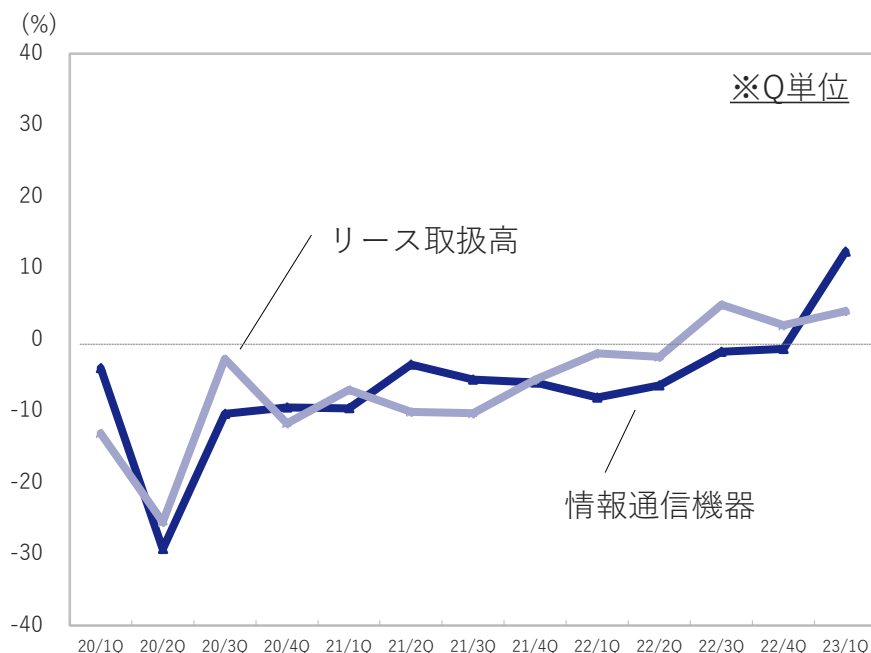
【経営成績】

- ・ 前年同期にインベストメント事業において大型販売用不動産の売却等を計上したことにより、売上高、利益共に前年同期比減少となるものの、第1四半期の進捗は期初想定通りの推移

2) 事業環境

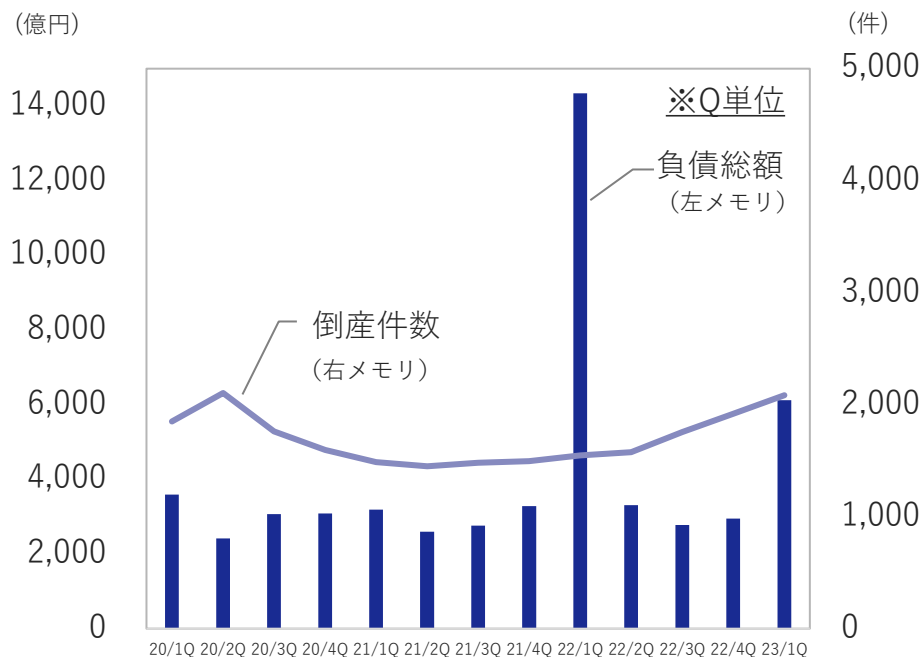
- ・リース取扱高：業界全体は前年同期比4.0%増、
当社主力の情報通信機器は前年同期比12.3%増
- ・倒産状況：23年度1Qにおける倒産件数は増加、負債総額は前年1Q発生
の大型倒産の影響で減少するものの増加傾向

■ リース取扱高動向（前年同期比推移）



（社団法人リース事業協会：リース統計より）

■ 倒産状況（負債総額/件数）



（帝国データバンクHP：倒産集計より）

3) 業績概要

- ・売上高 : 前年同期にインベストメント事業において大型売却売上を計上したことにより同期比15.4%減
- ・経常利益 : 与信関連費用の減少があったものの、インベストメント事業のGP減少等により、経常利益は前年同期比60.2%の減少

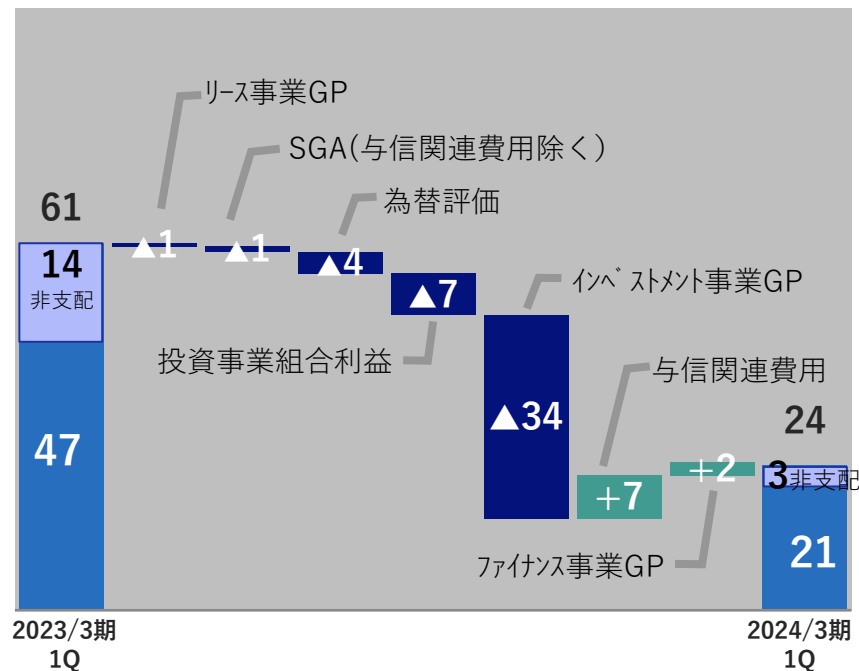
■ 業績数値

(単位：億円)

	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	前年同期比
売上高	715	605	▲15.4%
営業利益	51	25	▲49.8%
経常利益	61	24	▲60.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	30	14	▲52.9%
1株当たり四半期純利益	138円18銭	65円04銭	—
営業資産残高	9,274	9,599	+3.5%
純資産	1,275	1,318	+3.4%
自己資本	1,067	1,102	+3.3%
自己資本比率 (%)	10.5	10.6	+0.1

■ 経常利益 前年同期比主要増減要因

(単位：億円)



4) 事業別損益

■ 事業別損益

(単位：億円)

		2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	前年同期比
リース 事業	売上高	544	561	+3.0%
	売上総利益	41	40	▲1.6%
	営業利益	17	14	▲13.3%
ファイナンス 事業	売上高	12	18	+46.7%
	売上総利益	9	12	+23.3%
	営業利益	▲0	10	-
インベストメント 事業	売上高	153	19	▲87.8%
	売上総利益	47	13	▲72.5%
	営業利益	39	5	▲86.3%
その他の 事業	売上高	6	8	+27.1%
	売上総利益	3	4	+18.5%
	営業利益	0	1	+83.6%
計	売上高	715	605	▲15.4%
	売上総利益	100	68	▲31.7%
	営業利益	51	25	▲49.8%

※短信セグメント情報のうち、「調整額」を除いて表示

<<リース事業>>

- ・売上高は前年同期を上回る推移となったものの、与信関連費用の計上があったこと等から営業利益は前年同期比減少

<<ファイナンス事業>>

- ・金利収益等の増加に加え、与信関連費用の減少等から売上高、売上総利益、営業利益共に前年同期比増加

<<インベストメント事業>>

- ・前年同期に大型の不動産売却があったことから売上および利益は大幅減少

<<その他の事業>>

- ・ヘルスケアの取り組みや手数料収益等が着実に進展し営業利益は前年同期比増加

5) 事業別の営業状況

■ 事業別契約実行高

(単位：億円)

	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	前年同期比
リース事業	441	437	▲0.9%
賃貸事業	369	388	+5.1%
割賦販売	72	49	▲31.4%
ファイナンス事業	783	818	+4.4%
営業貸付金	540	537	▲0.6%
一括ファクタリング	243	281	+15.5%
その他の事業	—	8	—
計	1,224	1,263	+3.2%

■ 事業別成約高

(単位：億円)

	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	前年同期比
リース事業	617	532	▲13.9%
賃貸事業	553	490	▲11.5%
割賦販売	64	42	▲35.0%
ファイナンス事業	771	812	+5.4%
営業貸付金	528	531	+0.7%
一括ファクタリング	243	281	+15.5%
その他の事業	—	—	—
計	1,388	1,344	▲3.2%

- ・ 契約実行高は、割賦販売が減少したリース事業が前年同期並みとなるものの、ファイナンス事業が伸長し、前年同期比増加
- ・ 成約高は、ファイナンス事業が伸長したものの、リース事業の減少により前年同期比減少

6) リース事業の営業状況

■ 業種別契約実行高

(単位：億円)

	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	前年同期比
官公庁	197	154	▲22.1%
民需	244	283	+16.3%
サービス業	74	105	+41.6%
流通業	49	51	+4.6%
製造業	51	74	+46.6%
その他	70	53	▲24.3%
計	441	437	▲0.9%

■ 業種別成約高

(単位：億円)

	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	前年同期比
官公庁	424	291	▲31.4%
民需	193	241	+24.5%
サービス業	56	95	+69.0%
流通業	24	36	+49.5%
製造業	47	49	+3.3%
その他	66	61	▲7.1%
計	617	532	▲13.9%

■ (参考) 機種別契約実行高

(単位：億円)

	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	前年同期比
情報通信機器	330	313	▲5.2%
電子計算機及び関連装置	134	140	+5.0%
ソフトウェア	168	125	▲25.6%
通信機器及び関連装置	28	47	+67.8%
事務用機器	36	40	+11.0%
その他機器	75	84	+12.5%
計	441	437	▲0.9%

<<業種別契約実行高>>

- ・官公庁は、大型案件の計上の減少により前年同期比減少
- ・民需は、サービス業・製造業の増加が寄与し、全体で前年同期比増加

<<業種別成約高>>

- ・官公庁は、前年同期に大型の自治体案件の計上があったこと等から、前年同期比減少
- ・民需は、サービス業・流通業を中心に増加し、全体で前年同期比増加

7) ファイナンス事業の営業状況

■ 契約形態別契約実行高

(単位：億円)

	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	前年同期比
立替・APF・割賦バック	53	42	▲20.3%
個別ファクタリング	178	273	+53.3%
一括ファクタリング	243	281	+15.5%
企業融資	283	196	▲30.8%
その他	26	26	▲0.3%
計	783	818	+4.4%

■ 業種別契約実行高

(単位：億円)

	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	前年同期比
官公庁	13	2	▲83.6%
民需	526	534	+1.5%
サービス業	38	31	▲18.1%
流通業	52	31	▲39.4%
製造業	205	275	+34.6%
金融業・保険業	68	87	+29.4%
不動産業	85	80	▲6.3%
その他	79	30	▲62.8%
一括ファクタリング	243	281	+15.5%
計	783	818	+4.4%

<<契約形態別契約実行高>>

- ・ファクタリングの伸長により全体で前年同期比増加

<<業種別契約実行高>>

- ・民需において、製造業や金融業・保険業が増加し全体で前年同期比増加

8) インベストメント事業の状況

■ 事業別損益

(単位：億円)

		2023/3期 1Q	2024/3期 1Q
アセットビジネス	売上高	37	16
	売上総利益	28	11
	営業利益	22	7
不動産	売上高	115	1
	売上総利益	18	1
	営業利益	17	▲1
アドバイザー	売上高	1	1
	売上総利益	1	1
	営業利益	▲0	▲0
連結ベース 計	売上高	153	19
	売上総利益	47	13
	営業利益	39	5

※「調整額」を除いて表示

前年同期に大型の販売用不動産売却を計上したこと等により売上および利益は減少

<<アセットビジネス>>

- ・ ファンドのEXIT案件計上が複数あったものの、前年同期比では売上、利益共に減少

<<不動産>>

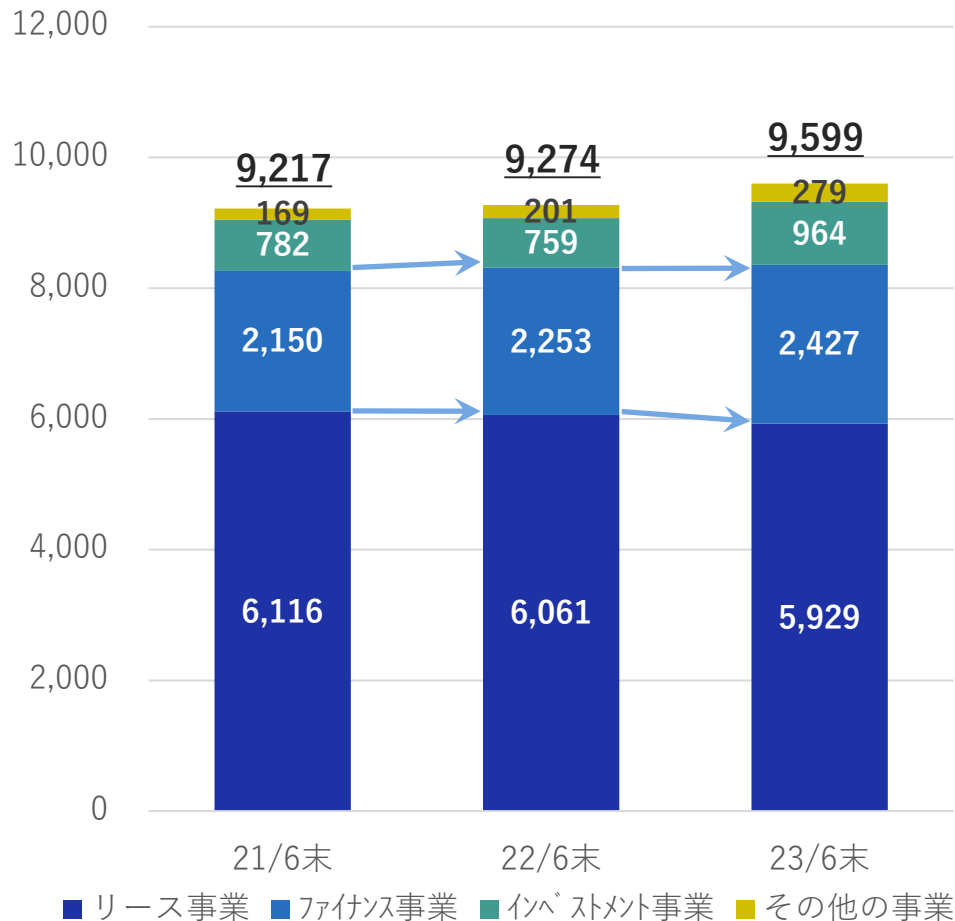
- ・ 前年同期に大型売却等があったことから売上および利益は前年同期比減少

<<アドバイザー>>

- ・ 前年同期並みの推移

9) 営業資産残高の状況

(単位：億円)



<<リース事業>>

- ・ GIGAスクール特需後の逡減はあるもののICTや小口リースの増加により減少幅を抑制

<<ファイナンス事業>>

- ・ ファクタリングや企業融資を中心にアセットを積み上げ、前年同期比175億円増加

<<インベストメント事業>>

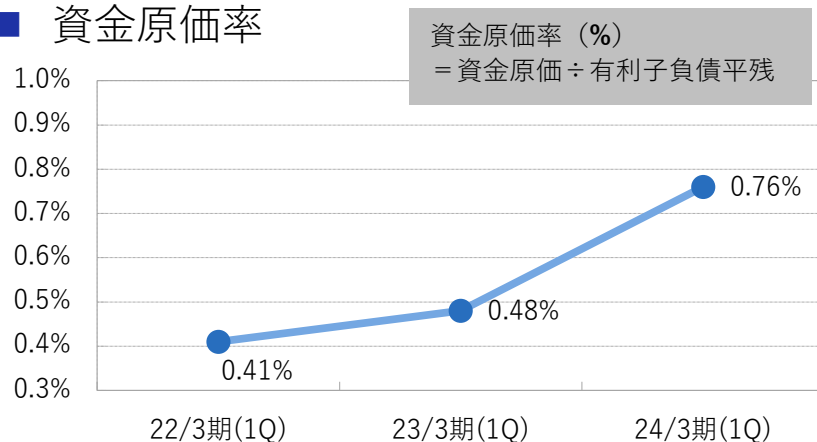
- ・ 販売用不動産や投資有価証券等の増加により前年同期比204億円増加

<<その他の事業>>

- ・ ヘルスケア等の取り組み進展に伴い前年同期比78億円の増加

10) 資金調達状況

■ 資金原価率

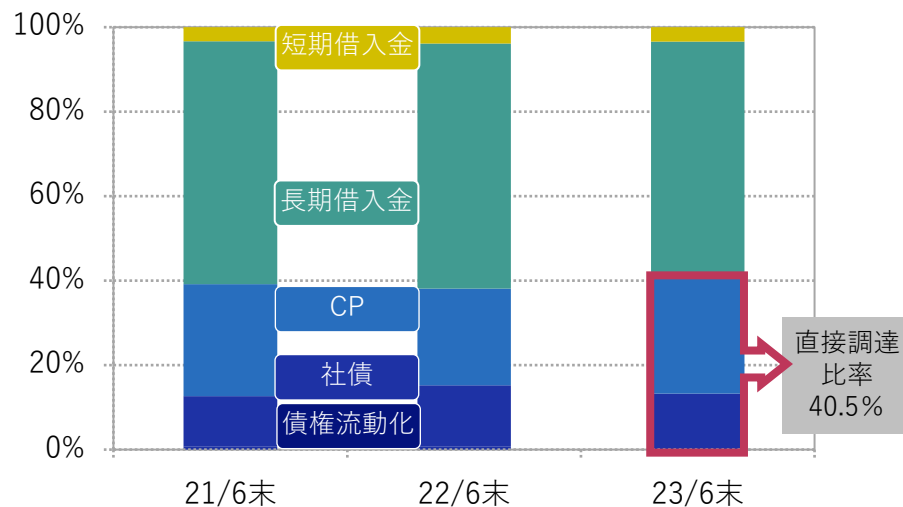


■ 有利子負債残高

(単位：億円)

	2022/6末		2023/6末		増減
		構成比		構成比	
短期借入金	321	3.9%	292	3.4%	▲29
長期借入金	4,780	58.0%	4,796	56.1%	+17
CP	1,890	22.9%	2,330	27.2%	+440
社債	1,202	14.6%	1,102	12.9%	▲100
債権流動化	56	0.7%	36	0.4%	▲19
計	8,248	100.0%	8,556	100.0%	+309

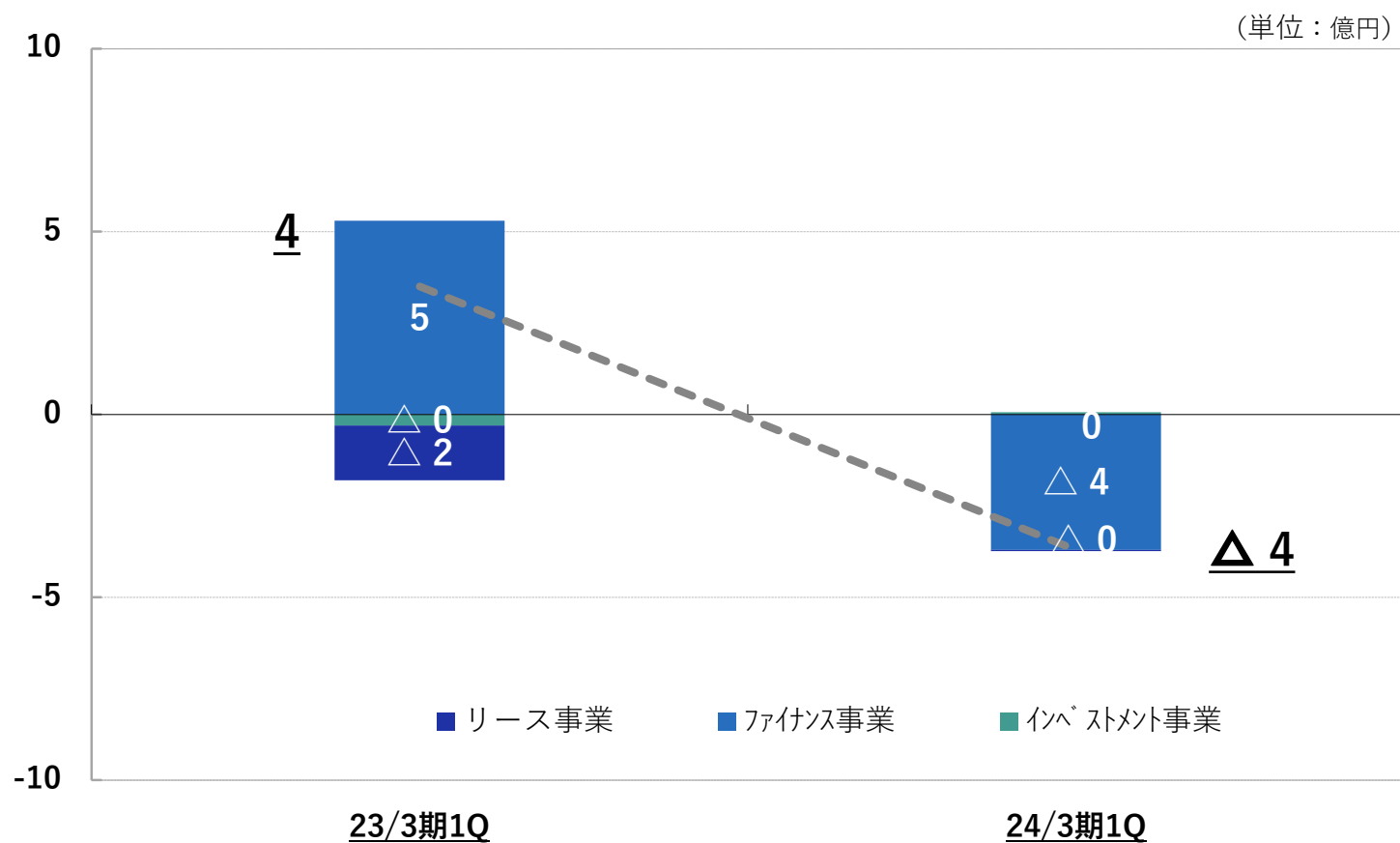
■ 有利子負債構成比



- ・ 資金原価率は、外貨の調達金利の上昇等に伴い前年同期比0.28ポイント増加の0.76%
- ・ 直接調達比率は、CPの増加に伴い前年同期比増(2022/6末 38.2% → 2023/6末 40.5%)

11) 与信関連費用

- ・ 全般的に与信関連費用の計上が減少したことに加え、ファイナンス事業において戻入があり、前年同期比で7億円の改善



2. 2024年 3 月期 計画

1) 業績予想

- ・ 第1四半期の進捗は期初想定通りの推移、業績予想は変更なし

(単位：億円)

■ 業績予想

	2024/3期 1Q(実績)	2024/3期 年間(予想)
売上高	605	2,600
営業利益	25	120
経常利益	24	125
親会社株主に帰属する純利益	14	75
1株当たり純利益 (円)	65円04銭	348円37銭

■ 1株当たり配当金

	第2四半期末	期末	年間
2023/3期 実績	37円00銭	73円00銭	110円00銭
2024/3期 予想	65円00銭	65円00銭	130円00銭

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略及び業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いします。

\Orchestrating a brighter world

NEC